

令和2年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業実施主体 評価一覧

【平成30年度採択 農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 5件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
東北農政局	青森県	七戸町	有限会社金子ファーム(七戸町「南部の馬文化」活用協議会)		●	■ ★ ☆	☆	◇		A	売上高や宿泊者数は新型コロナ以前のR1年度にすでに目標を大きく上回っており、もしR2年度において新型コロナがなければという期待が持てた。曲屋KANEKOの改修工事を通じての連携や、その知名度(日本空間デザイン賞受賞)などafterコロナでのこの地域の農泊の展開には注目したい。
東北農政局	岩手県	一関市	株式会社イーハトーブ東北(平泉一関エリア農泊推進協議会)	●	■ ★ ☆	☆	◆			A	R1年度において一通りの体制が整えられ、R2年度は本来自立的な営業を評価する年度であるが、新型コロナの影響下でほとんど営業らしい営業のできていない状況でのハード事業の評価は難しい。R2年度の農泊参入者発掘の成果がどのようになったか記載がないものの、マイクロツーリズムのような地域限定の需要の動きを的確に捉え、R1年度同様の成果を上げたことは、それなりに準備が整っていることを期待させる。Afterコロナでの活動を期待したい。
東北農政局	岩手県	八幡平市	株式会社宿かり屋ドットコム(八幡平松尾地区農泊推進協議会)	●	■ ★ ☆	☆	◆			C	R2年度においては、コロナ禍のため計画していた事業がほとんど頓挫した状態にある。事業の最終年度であり自己資金のみで事業を展開する年度ではあるが、R1年度までは順調に実績を伸ばしてきたものの、コロナ禍の影響が実績減の要因であろうかと捉えた。ただし、こうした事態における代替案による対応が見えないことから、体制不備が否めない。自己評価がCであることから、そのような状態であると判断せざるをえない。
東北農政局	秋田県	湯沢市	有限会社アシスト実務工房(岩崎発酵するまちづくり協議会)		●	■ ★ ☆	☆	◇		A	事業目的を達成するため、協議会員の施設を体験型の施設へと改修を行い、公園整備や交流イベントを通じて継続的に地域他団体と連携、施設利用の向上につなげている。「発酵のまち」としての歴史、この地域ならではの食、食べ方等を織り交ぜることにより、ますます取り組みに厚みが増すと考える。地域一体での取り組みに期待したい。
東北農政局	福島県	飯舘村	飯舘村佐須行政区地域活性化協議会		● ★ ☆	■ ☆	◆			B	コロナ禍のなか、工夫して事業に取り組んでいる様子が窺える。さまざまな取り組みを行うなか、宿泊施設「風と土の家」の認知度が高まり、村外へ避難している村民や村在住の若者の利用が徐々に浸透してきている等、おおむね評価。改めて事業の目標を関係者等で確認、共有し、地域一体となった取り組みに期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

ハード対策 ★・・・交付対象年度(実施済) ☆・・・目標設定期間(事業開始から1年目及び2年目) ◇・・・目標年最終年地区(事業開始から3年目) ◆・・・令和2年度目標設定最終年地区(実施済)

注2:「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

令和2年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業実施主体 評価一覧

【令和元年度採択 農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 21件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
東北農政局	青森県	つがる市	津軽の食文化推進協議会			●	■			A	R2年度は新型コロナの流行によって旅行が困難な中、昨年度と比べて売上高や宿泊者数が全く減っているわけではない点で地域の努力は評価に値する。特に体験プログラムは目標を大きく上回っており、農泊に対する地域の受入の準備が進められている様子がわかる。事業後の発展を期待したい。
東北農政局	青森県	平川市	青森県自然体験活動ネットワーク推進協議会			●	●	□		A	新型コロナの影響から実際に客を招くということができない状況下で、行いうことでAfterコロナを準備している。食事メニューの開発に代えて生ハムラベルのデザインを考案したり、ツアーの企画など次の手の準備に取りかかっていることはとても評価できるが、売上高や宿泊については大きな打撃だ。本事業を含むAfterコロナの取組としてはこうしたダメージをいかに小さくするか、ということにも全体として取り組んでほしい。
東北農政局	青森県	田子町	田子町「環十和田湖Gateway構想」推進協議会 田子町(施設整備事業)			●	● ★ ☆	□ ☆	◇	B	ソフト・ハードの両面での総合的に取り組んで地域の発展を図るというその意欲については予算額からも伺うことができるが、その途上において新型コロナの影響によってやむなく中断となった。それゆえ、ソフト・ハードともに目標に対して不完全燃焼であり、Afterコロナに期すべきところが大きいにある。とはいえ、新型コロナ禍においてもなお取り組みうるところを見つけ、意欲を維持し続けており、今後のハード事業の展開と相即して大きな発展となることを期待したい。
東北農政局	岩手県	岩手町	アウローラJ5			●	■			A	取組については新型コロナ禍にあって縮小せざるをえないことを考慮して実行できる範囲での取組については評価できるだろう。R3年度が最終年度ではあるが、R2年度と同様に新型コロナ禍にあって十分に活動出来ない状況が続くと予想できる。必ず訪れるAfterコロナの状況を見据えて今はしっかり準備を整えることが肝要である。
東北農政局	宮城県	石巻市	石巻みらい農泊推進協議会			●	■			A	R2年度も新型コロナ感染症が流行したが、その流行と流行との間隙(ハンマーアンドダンスのダンスの期間)に様々な企画を実行に移し成果を見事に上げている。宿泊人数や体験プログラム数については目標を大幅に下回っているものの、売上高や延べ飲食店の来店者数などほぼ目標を達成している。このような感染症にあっては、隙を見る感覚は重要である。こうした進捗を踏まえて、次のステップを是非展開されたい。
東北農政局	宮城県	気仙沼市	気仙沼ヘルスツーリズム協議会			●	●	□		A	農泊についての実際の開業が1つであったが参加あり予定数あり、またこの新型コロナ禍であることも考慮すれば十分な進捗であるといえる。多くの調査がR3に延期されR2年度には実施されていないものの、一部モニターツアーを実施するなど出来る範囲での前進は図られている。R3年度には、Afterコロナを見据えての取組を期待したい。
東北農政局	宮城県	七ヶ宿町	株式会社七ヶ宿くらし研究所			●	■			A	新型コロナ禍で事業を実施することは困難であったが、それでも最大限可能な範囲で実施できていることをうかがわせる。評価はそのような観点で行った。目標の4分の1程度の成果であるものの、感染予防対策など工夫を凝らして果敢に進めたことは、その意欲・意気という点で評価できるものである。R3年度やAfterコロナの取組に期待したい。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
東北農政局	宮城県	柴田町	柴田町里山ビジネス振興協議会			●	■			A	新型コロナ禍で、農泊の売上高や宿泊者数が大きく上回っていることは、Go To イートや宮城県版の宿泊促進策などが関係しているとしても需要がそれなりにあり、また、タイミングさえよければその需要を受けることが可能だということを示している。他の事業がなかなか進まない中、しっかりした需要が確認できたことから、これからの取組次第で大きく農泊事業を前進できると言うことだろう。今後の展開に期待したい。
東北農政局	宮城県	川崎町	みちのく川崎里山ツーリズム協議会			●	■			A	新型コロナ禍で、農泊の売上高や宿泊者数が大きく上回っていることは、Go To イートや宮城県版の宿泊促進策などが関係しているとしても需要がそれなりにあり、また、タイミングさえよければその需要を受けることが可能だということを示している。また、他の事業についても規模を縮小するなどの対応で実績を挙げて取組に関しておおむね予定通りできているとのこと。これからも新型コロナが流行するとすれば、隙のタイミングでしっかり事業を継続していただきたい。
東北農政局	宮城県	亘理町	亘理町「里と海をつなぐフェニックスプラン」推進協議会			●	■			A	新型コロナの影響による農泊の売上高や延べ宿泊者数などは目標の6~7割程度にとどまったものの、Afterコロナへの着実な準備が行われていることがうかがえる。新型コロナを受け入れ次の機会に向けて準備をすることが重要である。報告書からはそうした対応に向けての動きがうかがえ、次の展開に期待ができる。
東北農政局	宮城県	松島町	松島手樽を元気にする協議会 一般社団法人 松島のかぜ (施設整備事業)			●	■ ★ ☆	☆	◇	A	カフェ経営事業や牡蠣祭りなどの大型イベントが実施でき、地域の知名度が高まり、さらに新型コロナを逆に人が密にならないオープンなエリアとして新型コロナ対応の息抜きとしての場所としても利用価値のある場所と認知されるようになったことは、これからの事業展開としては良い方向に運んでいる。新型コロナのため出来なかった事業も少なからずあるが、今後の展開の中で解消されていくことを期待する。
東北農政局	宮城県	七ヶ浜町	七ヶ浜農泊推進協議会			●	■			B	本事業は農泊そのものの推進というよりは、その環境の確立というほうがふさわしく、農泊の魅力を培うために魅力ある地域の特産部作りとプログラム(マリンスポーツ体験など)に取り組んだというもの。前者は息の長い取組なので、うまくいっているようなので是非今後も取り組み続けていただきたい。後者は情報発信とともに重要なものであり、特に新型コロナ禍でも密にならない事業としてニーズがあるだろう。R2年度は新型コロナの影響から農泊事態の成績は振るわなかったが、今後の発展に期待したい。
東北農政局	秋田県	潟上市	潟上市観光まちづくり協議会			●	■			A	古民家(小玉家住宅)及び周辺エリアについて観光資源にするための計画を進めることが出来ている。観光パンフレット、体験プログラムの作成を行い、当初の目標は達成、評価をAとした。今後はここならではの食の磨き上げや行政、地域内のさまざまな組織、人との連携を強化し、さらなる発展に期待したい。
東北農政局	秋田県	三種町	三種町農泊推進協議会			●	■			A	農泊体験を通じて当事業のプログラムの価値を協議会メンバー間で共有し、主要農泊体験プログラムの販売に向けた各協議や人材育成研修を重ねた結果、「農泊事業によって収益を上げる」という前向きな意識が協議会メンバーにおいて定着したとのことで総合評価をAとした。取り組みを深め、地域において定着するためには、目標を明確にし、メンバー間で共有することが大切である。今後さらなる取り組みに期待したい。
東北農政局	山形県	鶴岡市	出羽三山門前町プロジェクト			●	■			A	コロナ禍において予定していた取り組みについて修正を図り、多くの地域事業者を巻き込むことを意識して検討するなど、工夫して進めてこられたことが窺える。いずれの取り組みも「出羽三山」の信仰文化、自然環境、観光を伝えるのためのものとしてしっかり行われているものとしてA評価とした。出羽三山とその地域について国内外の人にしっかり伝え、理解を図ることは大切なことと考える。今後さらなる取り組みに期待したい。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント	
				H29	H30	R1	R2	R3	R4			
東北農政局	山形県	小国町	小国町農泊推進協議会			●	●	□			B	コロナ禍のなか、可能な限りのPRやコロナ終息後のインバウンドに向けた準備に関して一定の成果は評価する。現状において本事業推進において軌道修正を図るために、改めて目標及び事業内容を関係者において明確にし、withコロナのなかでの取り組みを推進することを期待したい。
東北農政局	山形県	白鷹町	白鷹町広域まちづくり協議会 株式会社 ukitam(施設整備事業)			●	■ ★ ☆	☆	◇		A	白鷹町の紅花(日本農業遺産)や地元の食文化を融合し、食と農業をテーマとして農村の活性化への取り組みについて評価する。施設整備事業によって、白鷹町への宿泊の増加に貢献するため、地域一体となった取り組みを推進されることを期待したい。
東北農政局	福島県	郡山市	逢瀬いなか体験交流協議会			●	●	□			B	今年度実施できなかった「人材育成セミナー」「会員の増強」を図るための「住民向けイベント」及び「ワークショップ」について、事業延長措置の適用により、未実施となった原因を踏まえての令和3年度の実施に期待する。「地元との協力関係構築に余白がある」との報告であるが、関係者及び地域の様々な組織、人が連携し、協力する体制を作り上げるためにも本事業を推進されたい。
東北農政局	福島県	天栄村	天栄村ふるさと子ども夢学校 推進協議会			●	■				A	コロナ禍のなか、現状においてできること、しなければならないことを冷静に判断し、おもてなし勉強会の開催や、体験メニュー・特産品メニューの開発等々をしっかりと行ってきたことを評価する。実施体制は村内さまざまな組織により構成され、地域一体となった取り組みとなっている。今後、法人化、DMO設立に向けた協議会の更なる発展に期待したい。
東北農政局	福島県	三島町	奥会津三島ブランドPR推進 協議会			●	■				A	事業実施体制は、町内のさまざまな組織、人が係わり、地域一体となった取り組みを展開している。コロナ禍のなか、メンバーが工夫して事業を進めてきた様子が窺える。せっかくの取り組みなので、「食」のおもてなし商品開発やインバウンド客満足度向上のためのツアーなど、経緯と内容について報告が欲しい。今後さらなる取り組みに期待したい。
東北農政局	福島県	石川町	石川町農泊推進協議会			●	●	□			B	コロナ禍で活動が滞ったものの、体制の確立、地域資源を観光コンテンツとして磨き上げる取り組みを農泊の基礎づくりとしておおむね評価。ターゲットを絞っていることも良い。今年度実施予定であった、情報発信の取組、先進地研修、法人化、DMO化について事業延長措置の適用による令和3年度の実施に期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

ハード対策 ★…交付対象年度(実施済) ☆…目標設定期間(事業開始から1年目及び2年目) ◇…目標年最終年地区(事業開始から3年目) ◆…令和2年度目標設定最終年地区(実施済)

注2:「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

令和2年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業実施主体 評価一覧

【令和2年度採択 農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業を除く)】 7件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
東北農政局	岩手県	紫波町	紫波ツーリズム協議会				●	□		A	事業初年度として農泊に対して手探りの状況であるが、手応えがうかがえる。農泊を実際に行う農家数などの記載がないものの、しかし地域の魅力の再確認が進んでいるので農泊取組への基礎が出来つつある。新型コロナ禍でなければもっと大きな手応えがあったのかもしれない。Afterコロナを見据えてR3年度の取組に期待したい。
東北農政局	宮城県	東松島市	東松島農水泊推進協議会				●	□		B	R2年度が事業初年度で新型コロナの流行が大きく企画を実行する時期には、猖獗たる状況にあったろうと思われる。売上高や延べ宿泊者数が全くないというのうなずけるが、しかし、新型コロナの流行もそうであるが、ハンマーアンドダンスなので、ダンスの時期を見計らって現実の動きをし、その間に準備など充電を怠りなく進めてほしい。合意形成について「ずっと継続させていただくことで意思が一致している」という記述は頼もしい限りである。
東北農政局	宮城県	大郷町	株式会社おおさと地域振興公社				●	□		B	地域としてこれまで農泊や農業体験プログラムを推進する旗振り役の組織がなく取組が行われてこなかったところからの出発で、まずは農泊や地域振興のための地ならしを行っていることがよく分かる。合意と連携の形成がどのように作られるかが鍵であるが、新型コロナ禍にあっても積極的に検討が行われている。農泊それ自体にはまだ至っていないところであるが、R2年度での実績を踏まえてこれからの展開として期待したい。
東北農政局	秋田県	横手市	増田地域活性化推進協議会				●	□		A	既に観光地として有名な横手市増田地域ではあるが、地域を通じた取組、とくに地域資源と個人所有とのバランスが重要で、全体での連携の場が求められる。そのような地域と個人との調和、それに観光客が増えるほど儲けが先になり他の住民の生活が後になりがちだが、両者の調和といったことが継続的にその地を維持するには重要である。バランスを取りながら次のステップに進んでほしい。
東北農政局	秋田県	大館市	大館市まるごと体験推進協議会(施設整備事業)				★ ☆	☆	◇	A	「酒こし舞」「和の里」「いち林」を農家民宿等経営者実施型により計画どおり改修を行い、全ての施設でインバウンド対応、宿泊の質の向上に繋がる整備となっていることは充分評価する。今後は、インバウンドのみならずマイクロツーリズムを充分に意識され、当該地域を体感、交流、そして発信する場となることを期待したい。
東北農政局	秋田県	由利本荘市	秋田鳥海山麓矢島活性化推進協議会				●	□		A	域内施設の活用可能性を検証し、既存の観光コンテンツを見直したことで、発掘・整理・改善に仕分け、今後の観光開発の基礎づくりを行ったこと及び鳥海山をメインコンテンツとして、今後訴求を拡大するためのロゴを制作、新たな情報発信の体制を整備したことは調査1年目の取組としては充分であり、総合評価をAとした。今後は目標としている商品開発等をすすめられ、地域一体での取り組みに期待したい。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
東北農政局	秋田県	仙北市	一般社団法人 仙北市農山村体験推進協議会(施設整備事業)				★ ☆	☆	◇	A	アグリ・アサノ・ファーム他6施設を農家民宿等経営者実施型により計画どおり改修がなされ、宿泊の質の向上に繋がる整備を行っている。旅行予約サイトへの登録を行っている整備施設もあり、十分に評価する。Withコロナの状況のなかで、関係者、地域内外の様々な組織、人との連携を強化し、さらなる取り組みに期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

ハード対策 ★…交付対象年度(実施済) ☆…目標設定期間(事業開始から1年目及び2年目) ◇…目標年最終年地区(事業開始から3年目) ◆…令和2年度目標設定最終年地区(実施済)

注2:「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

令和2年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)事業実施主体 評価一覧

【農泊推進対策(農泊地域高度化促進事業)】 5件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階						評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2	R3	R4		
東北農政局	青森県	南部町	達者村ホームステイ連絡協議会				● ■			B	以前から農泊に取り組み、また、特産品の果物を軸として果物狩りツアーを開催してきた経験を活かした取り組みを展開している。本事業においてこれまで農泊事業者と町内観光事業者が連携して活動する体制が整備したこと、多言語での受け入れができるよう整備を進めたこと等評価。今後も地域一体となった取り組みに期待したい。
東北農政局	岩手県	一関市	いちのせきニューツーリズム協議会				● ■			B	インバウンド推進に向け多言語対応、食事環境整備、体験メニュー開発を行い、受入体制の充実を図ることができたことはおおむね評価。今後地域一体となった取り組みを継続して行うための体制を確立し、改めて事業の目標を関係者等が共有することが大切と考える。今後の取り組みに期待したい。
東北農政局	宮城県	蔵王町	蔵王農泊振興協議会				● ■			A	コロナ禍において、以前はインバウンド中心だったが、コロナ以降は仙台市を中心としたマイクロツーリズムへと変化し、農泊推進の新たな可能性や課題を見いだしたことは大きい。まずは地域及び圏域内でいかにこの地域について知ってもらうかが大切と考える。農泊推進の手法としては、マイクロツーリズムへのシフトがみられるものの、決済キャッシュレス化及びOTA販売体制整備並びに販売ページの多言語化を完遂したことを十分に評価。今後さらなる取り組みに期待したい。
東北農政局	秋田県	仙北市	一般社団法人仙北市農山村体験推進協議会				● ■			A	現状と今後の活動に向けてシステムの導入及びキャッシュレス決済システムの導入を図っている。農泊事業者を支援することができる環境を整備したことを評価。今後地域一体となった取り組みに期待したい。
東北農政局	山形県	戸沢村	戸沢村農泊推進協議会				● ■			B	アフターコロナを見据えてのインバウンド対応の取り組み(インバウンド向け旅行商品づくり、多言語翻訳機の整備)について一定の評価。取り組みを継続し、進化させていくためにも地域のさまざまな組織、人がかかわる体制づくりが急務と考える。今後は台湾へのプロモーション活動の再開等に期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例

ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

ハード対策 ★・・交付対象年度(実施済) ☆・・目標設定期間(事業開始から1年目及び2年目) ◇・・目標年最終年地区(事業開始から3年目) ◆・・令和2年度目標設定最終年地区(実施済)

注2:「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調